

令和6年7月23日 発表

中小企業月次景況調査結果

令和6年6月分

～令和6年6月 データから見た業界の動き～

令和6年7月23日 発表

非製造業ではすべてのD.I値が低下
価格転嫁に苦慮する事業者の声が多数



山梨県中小企業団体中央会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1

TEL 055-237-3215

FAX 055-237-3216

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/>

令和6年7月23日 発表

非製造業ではすべてのD.I値が低下 価格転嫁に苦慮する事業者の声が多数

■ 概 況

6月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で

売上高 ▲2ポイント（前年同月比 6ポイント↓）

収益状況 ▲4ポイント（前年同月比 10ポイント↑）

景況感 ▲4ポイント（前年同月比 6ポイント↑）となり、収益状況・景況感が前年同月を

上回った。

業種別で、製造業では…

売上高 ▲25ポイント（前年同月比 10ポイント↓）

収益状況 ▲5ポイント（前年同月比 30ポイント↑）

景況感 ▲15ポイント（前年同月比 20ポイント↑）となった。

「売上げが多少増加しても、製造に係るコスト上昇分を補えない（骨材・石工品等製造業）」や、「主要取引先への価格転嫁が進まない（紙製造業）」など、収益状況D.I値は上昇した（+30ポイント）ものの、製造業全体の傾向とは言えない。

また、「戸建て住宅数の減少・木材価格の高止まりの状況がいつまで続くのか、先行き不透明である（木材・木製品製造業）」や「半導体関連の受注量は底打ち感があり状況は好転するほかないと予測しているが、厳しい状況は変わらない（電気機械器具製造業）」など、数値上昇（景況感+20ポイント）の半面、事業者のコメントでは先行きを不安視する声が多かった。

一方非製造業では…

売上高 +13ポイント（前年同月比 4ポイント↓）

収益状況 ▲3ポイント（前年同月比 3ポイント↓）

景況感 +3ポイント（前年同月比 4ポイント↓）となり、

5月に引き続きすべてのD.I値が前年同月を下回った。夏に向けてイベント開催・人流の増加が予測される中で、宿泊業では需要に応えられるだけの人員・体制を構築できるか懸念しており、「アルバイト希望者は多いが、正規従業員の雇用は厳しい状況が続いている（警備業）」や「ドライバー不足により受注を断らざるを得ない状況である（バス運送業）」など、人手不足が売上回復の足かせとなっている。

また、「製造原価が前年と比べ50%ほど上昇しているが、価格転嫁が進まず収益状況は悪化する一方である（ジュエリー製品卸売業）」や、「県内では請負単価が安いいため、価格転嫁が進んでいる首都圏まで仕事に行く事業者もある（型枠大工工事業）」など、非製造業全体で十分な収益確保が進んでいない状況が続いている。

「加工単価・従業員の賃金上昇分の転嫁については交渉の土台にすら上がらない（電気機械器具製造業）」や、「組合員が取引先に契約料金の値上げ交渉を持ちかけた結果、提示した見積額以下の他事業者の見積りがあることを理由に、協議も行わず値上げ交渉は決裂・契約解除となった（廃棄物処理業）」を例に、製造業・非製造業を問わず、すべての業種で価格転嫁に苦慮している。

中央会では、厳しい経営環境を乗り越えるため、専門家派遣や講習会等を活用した支援を強化しています。お気軽にご相談ください。

● 製造業

食料品 (水産物加工業)	特注があったため前年同月と比べ売上げは105.2%となった。
食料品 (洋菓子製造業)	店舗拡大効果によって前年同月と比べ売上げは105%となった。
食料品 (パン・菓子製造業)	前年同月と比べ商品価格を25%ほど値上げし、収益状況は20%好転した。お土産商品の売れ行きが好調である。
食料品 (酒類製造業)	ワイン業界の市況は低迷しているが、新規参入する零細事業者（小規模ワイナリー）が増えているため、各社の売上げを注視している。
繊維・同製品 (織物)	OEM生産に加え自社ブランドの生産・販売体制を強化し、海外展示会への出展を計画している。またネット販売やふるさと納税返礼品の需要増加の波に乗って、国内販売の売上げも伸ばしていきたい。
繊維・同製品 (織物)	輸入原材料の価格上昇分を販売価格に転嫁できておらず、クールビズやビジネスカジュアルの潮流によって裏地・ネクタイ部門は厳しい状況であり、商品の付加価値をどのようにして高めていくかが今後の課題である。
木材・木製品製造	戸建て住宅着工数の減少によって、前年同月と比べて売上げは▲34%となった。木材価格も高止まりしており、この状況がいつまで続くのか先行きは不透明である。
窯業・土石 (砂利)	前年同月と比べ売上げは▲10%、収益状況は▲5%となった。骨材単価を値上げしても製造に係るすべてのコストが上昇しており、収益状況が悪化している。
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	前年同月と比べ売上げは3%増加したが、材料費の値上がりによって収益確保が困難な状況が続いている。
一般機器 (業務用機械器具製造業)	前年同月と比べ売上げは▲20%、収益状況は▲18%となった。円安進行や物価高騰によって業界全体で厳しい状況が続いている。
電気機器 (電気機械部品加工業)	大規模の改修工事が発注されており、共同受注が出来ないか現在検討中である。今後の大型物件受注のモデルケースにしたいとも考えている。
電気機器 (電気機械部品加工業)	前年同月と比べ収益状況は5%好転した。半導体関連の受注量は底打ち感があるため夏以降から年末にかけて状況は好転するほかないと予測しているが、製造業全体で厳しい状況は変わらない。
宝飾 (研磨)	6月に香港で展示会が開催されたが、昨年と比べ盛り上がりには欠けた。
宝飾 (貴金属)	前年同月と比べ売上げ・収益状況ともに▲50%となった。金・プラチナの価格が安定するまでは厳しい状況が続く。

● 非製造業

卸売 (ジュエリー)	円安進行・原材料価格高騰によって、製造原価が前年と比べ50%ほど上昇している。価格転嫁が進まず収益状況は悪化する一方である。 6月に香港で開催された展示会での売上げは昨年と比べて半減し、中国景気低迷の影響を感じている。
小売 (青果)	前年同月と比べ売上げ▲10%、収益状況は▲6%となった。馬令薯・玉葱が異常な高値であり、桜桃も不作であった。今後の桃・ぶどうの売れ行きに期待している。

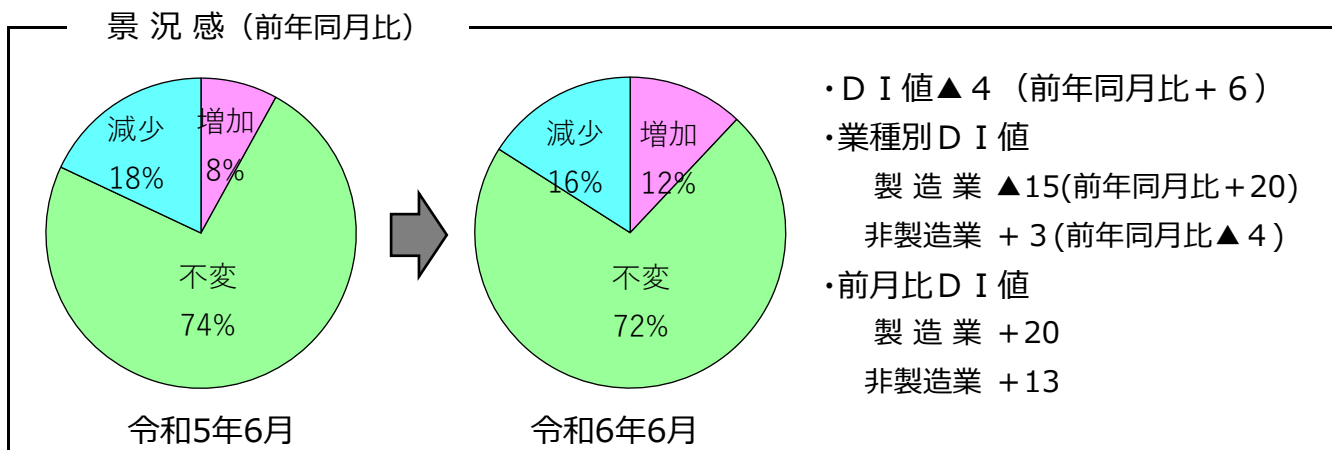
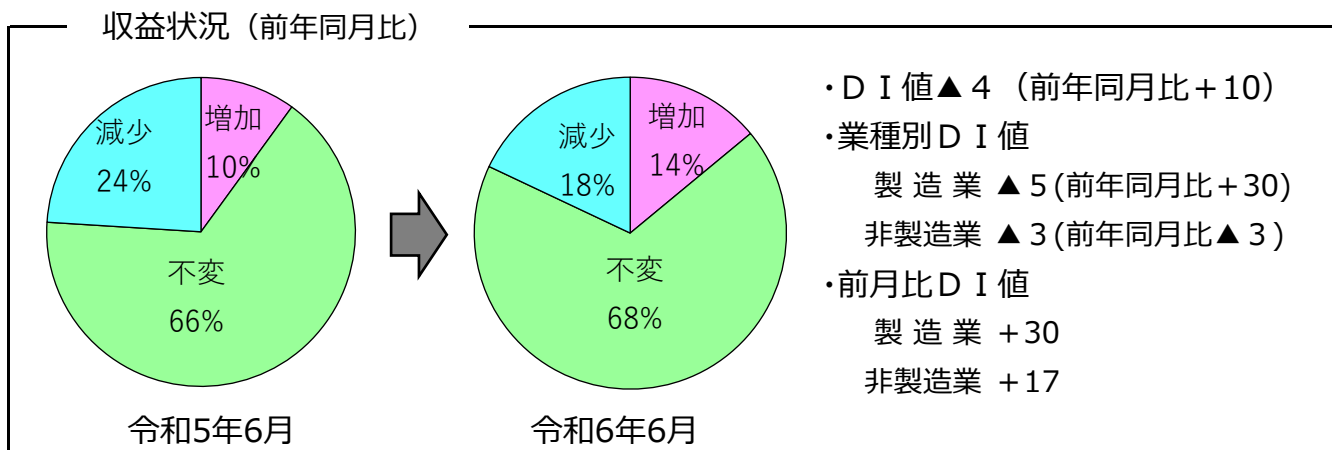
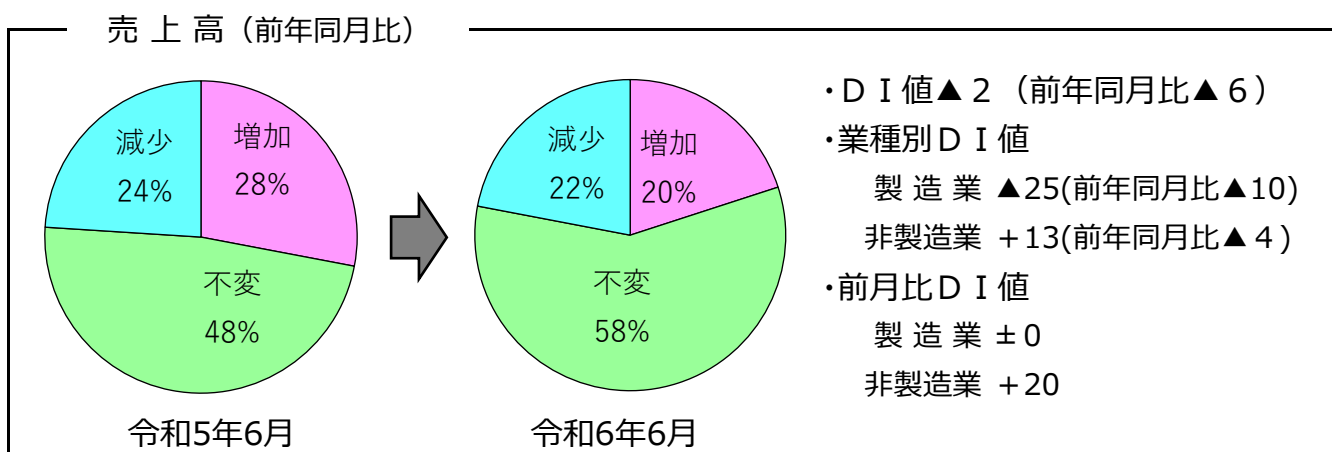
小売 (食肉)	円安進行や中東紛争・自然災害の影響によって輸入食肉の価格が高騰している。施設利用料の値上がりによって販売先である宿泊施設の予約状況も伸び悩んでいる。
小売 (電気機械器具小売業)	気温上昇の影響によってエアコンの売上げが前年同月比20%アップしたが、冷蔵庫については前年並の売れ行きとなった。
情報サービス業	前年・前月と比べて特に変化はない。
宿泊業	物価高騰によって宿泊料金の見直しを行う事業者が多い。 イベントの増加によって週末の稼働状況が好調であり、これから観光のトップシーズンに入るため、観光客（特にインバウンド）の獲得に力を入れていきたいと考えているが、需要に応えられるだけの人員・体制を構築できるか懸念している。
美容業	高齢化を理由に脱退する組合員が増えている。
産業廃棄物処理	円安の進行や燃料費の高騰、最終処分場の受入制限及び処分費の値上げ、設備投資、設備増強に係る費用の増加、運送業界の2024年問題への対応など業界全体で課題が山積みである。
一般廃棄物処理	事業系一般廃棄物の契約料金の値上げ交渉について、組合員企業が排出先事業者と交渉を持ちかけた結果、提示した見積額以下の他事業者の見積りがあることを理由に、協議も行わず値上げ交渉は決裂し、契約解除となった。近年このような事例が多く今後の動向を注視している。
警備業	働き方改革の影響によって雇用人員は減少傾向である。アルバイト希望者は多いが、正規従業員の雇用は厳しい状況が続いている。 また、警備単価上昇などの影響によって売上げは増加している。（前年同月と比べ4%増加）
自動車整備業	車検台数について、普通車:14,459台（前年同月比+318台） 軽自動車:11,425台（前年同月比:+602台）となった。※集計の都合上、5月末の数値 車検について、年度末の混雑緩和と自動車整備士の働き方改善のため、来年4月より車検証の有効期間満了日の「2か月前」から車検を受けることができるようになる。（現在は有効期間満了日の1か月前から満了日までの間）
建設業 (総合)	6月の県内公共工事は、前年同月に比べ件数は▲0.7%となったが請負金額は19%増加した。6月末の累計件数は7%、請負金額は3%それぞれ増加した。
建設業 (型枠)	地域によって請負金額に格差があり、首都圏では価格転嫁が進んでいることから、組合内では東京まで仕事に行く事業者もある。 国中地域でも仕事はあるが請負単価が安く、厳しい状況が続いている。
建設業 (鉄構)	取引先が大手かどうかによって工場の仕事量が二極化している。また材料等の価格上昇分の転嫁が進まず、元請が入札したものの価格面の折り合いがつかず不調になるケースが増えており、ゼネコンの図面指示遅延の影響で手持ちとなる工場も増えている。
設備工事 (管設備)	前年同月と比べ売上げは8%増加したが、収益状況は2%悪化した。ポリ塩化ビニル・化成品類など、管設備資材の仕入価格が上昇し続けている。
運輸(タクシー)	甲府市では、70歳以上の高齢者の買い物・通院等を支援する目的で「デマンド型タクシー」の実証運行を行っている。（7月～11月の平日） 支援地区は大里・相川地区であり、自宅と甲府市指定の目的地区間内など利用制限があるが、交通弱者にとって身近な移動手段として利用者増加に期待している。

運 輸 (バ ス)	受注量はコロナ以前よりも増えているが、ドライバー不足のため断るケースが増えている。
運 輸 (トラック)	気温上昇とともに飲料水や青果物の出荷が増え、輸送需要が高まっている。 時間外労働の上限規制によって労働力確保が喫緊の課題となる中で、運送業界への就職者が徐々に増加傾向である。

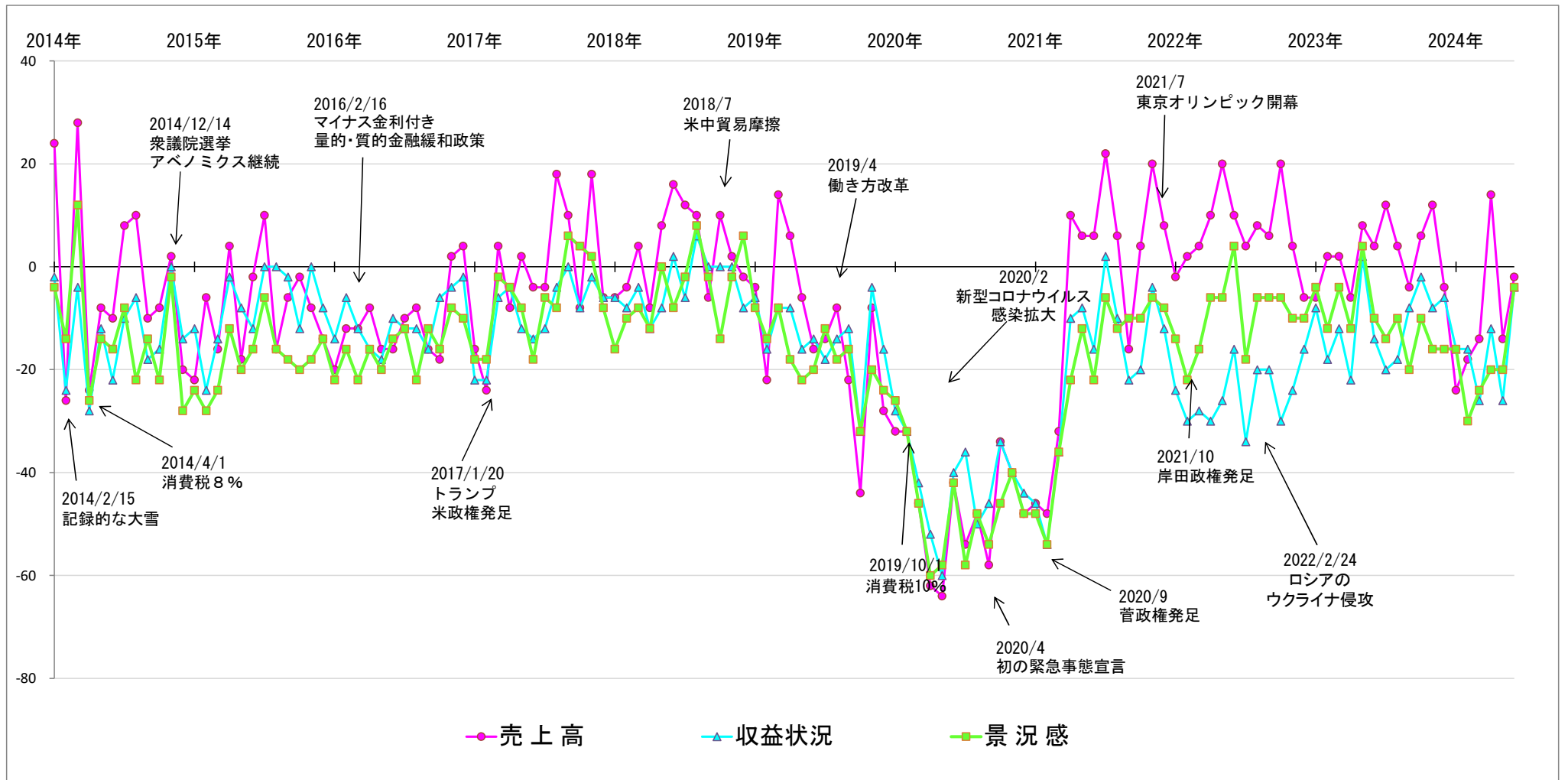
■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2023年6月	2024年5月	2024年6月	2023年6月	2024年5月	2024年6月	2023年6月	2024年5月	2024年6月
売上高	▲ 15	▲ 25	▲ 25	17	▲ 7	13	4	▲ 14	▲ 2
収益状況	▲ 35	▲ 35	▲ 5	0	▲ 20	▲ 3	▲ 14	▲ 26	▲ 4
景況感	▲ 35	▲ 35	▲ 15	7	▲ 10	3	▲ 10	▲ 20	▲ 4

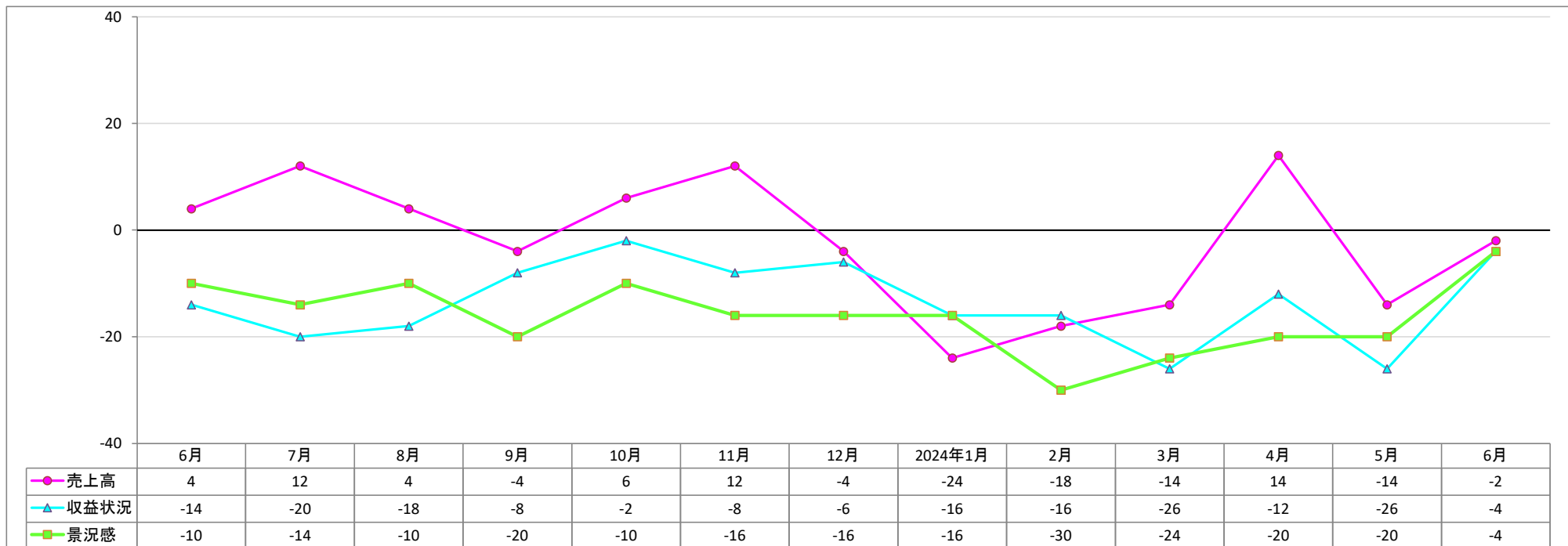
※((良数値÷対象数) ×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I値



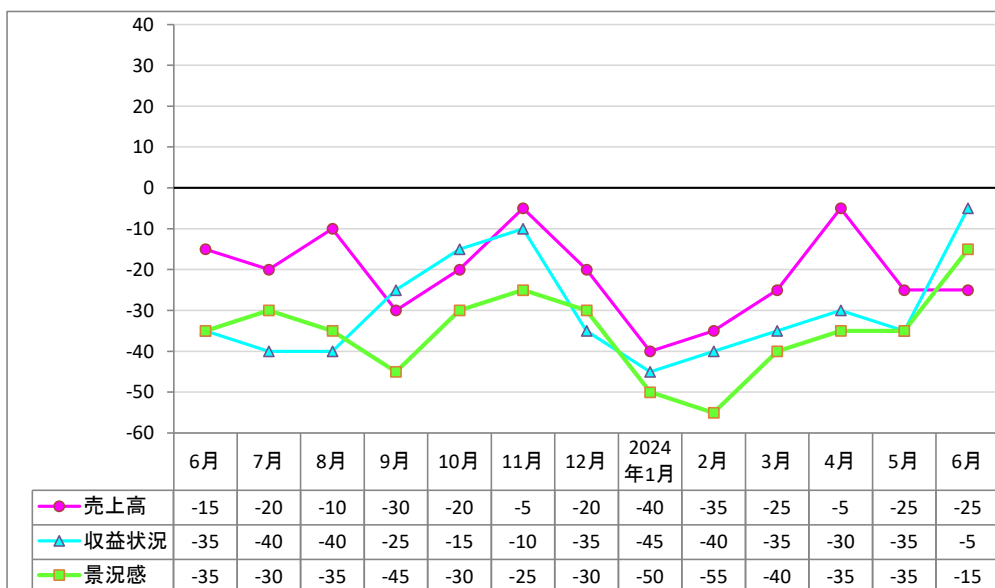
D.I値の推移①(過去10年間) 2014年1月～2024年6月



D.I値の推移②(過去1年間) 2023年6月～2024年6月



【製造業】



【非製造業】

